

令和6年度森林環境譲与税を活用した森林整備等事業の実施について

- 森林環境税及び森林環境譲与税は、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設されました。
森林環境譲与税は、喫緊の課題である森林整備に対応するため、森林経営管理制度の導入時期を踏まえ、令和元年度から市町村及び都道府県に譲与が開始されました。
- 森林環境譲与税は、市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材の利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされ、その用途については、インターネットの利用等により公表しなければならないとされています。
- 角田市では、令和6年度において次の取り組みを行いました。

1. 森林整備業務（私有林整備事業）

【事業費】4,301,000円（財源内訳：森林環境譲与税4,301,000円）

【事業内容】集積計画を策定した8.36ヘクタール（高倉地区8.05ヘクタール、藤尾地区0.31ヘクタール）で間伐を行い、森林環境の適正化と森林の育成に寄与した。



2. 森林経営管理制度意向調査及び集積計画の策定並びに現況調査（意向調査、集積計画等作成事業）

【事業費】748,660 円（財源内訳：森林環境譲与税 748,660 円）

【事業内容】令和 5 年度に実施した森林経営管理制度意向調査（藤尾地区）に基づき、角田市へ管理を委託希望する森林の現況調査を行い、施業方法等の検討を行い、次年度作成する森林経営管理集積計画の準備を行った。

3. 森林巡視業務（林道・林専道の整備等事業）

【事業費】490,600 円（財源内訳：森林環境譲与税 490,600 円）

【事業内容】市内の山林（7 区域）及び林道（7 路線）について、月 1 回の定期巡視を行うほか、簡易な修繕等を実施し、森林経営環境の保全等を行った。

4. 林道維持業務（林道・林専道の整備等事業）

【事業費】1,995,565 円（財源内訳：森林環境譲与税 1,995,565 円）

【事業内容】林道 7 路線（仙石線、峠～宮沢線、権原線、芋坊線、黒荷田線、大平線、西ノ入線）の路面清掃等を行い、林道の保全及び森林経営環境の整備を行った。

5. 森林環境整備基金

【事業費】21,139,254 円（財源内訳：森林環境譲与税 17,904,000 円、木材売払収入 3,221,670 円、預金利子 13,584 円）

【事業内容】次年度以降の事業に向け、森林環境整備基金への積立を行った。

※ 令和 6 年度末の基金現在高 39,475,130 円

＜参考＞	① 令和 6 年度森林環境譲与税交付額	17,904,000 円
	② 私有林人工林面積（※1）	2,351.35ha
	③ 林野率（※2）	38.1%
	④ 人口（※3）	27,976 人
	⑤ 林業就業者数（※4）	32 人

【使用データ】 ※1：森林資源現況調査（林野庁 H29.3.31 現在）

※2：2020 農林業センサス、※3 及び※4：令和 2 年国勢調査